

I 実践

1 研究主題

児童一人一人が互いの存在を大切にし、互いを思いやり助け合う児童の育成

(1) 主題設定の理由

本校の教育目標は「豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる児童の育成」である。本校の目標を受けて、「公平で差別や偏見をもたない子ども」「思いやりやの心を持ち、誰に対しても親切に行動できる子ども」「仲良く助け合いながら、最後まで仕事をやり遂げる子ども」「物事を正しく判断し、行動できる子ども」「自ら学び、自ら考える子ども」「きまりを守り、健康で安全な生活をする子ども」を育てることを人権教育の目標としている。これらの目標を達成するためには、児童一人一人が互いの存在を大切にしなければならぬ。また、そのためには互いを思いやり助け合う心を持ち、互いの良さに気付くことができる児童を育成することが大切である。そこで、思いやりをもち、助け合う児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 互いのよさを大切にするための環境作り
- イ 互いを大切にした豊かな体験活動の展開
- ウ 人権に関する啓発活動の充実

2 実践の内容

(1) 互いの良さを大切にするための環境作り

- ア 活動の流れや活動の足跡がわかる作品や資料の掲示

児童の作品や係コーナー、誕生月コーナー、互いのよいところを書いたカードを掲示するコーナーなどを作り、学級の一員としての所属感を味わえるようにした。

- イ 道徳コーナーの設置

道徳における友達の見解を掲示し、自分の気持ちを伝え、友達を思いやり、助け合いながら行動できる児童の育成に努めた。

- ウ よいところはっけん運動

自分や友達、学校や地域のよいところを見つけてカードに記入し学級や昇降口に掲示することで、互いの良さを認め合う意識の高揚を図った。

- エ 特別支援学級との連携・交流

特別支援学級ポプラは、特別なところでなく、「みんなが困ったときにじっくり学習したり考えたり、相談したり、心を休めたりする所」と低学年の頃から伝え、身近な存在であることを意識させている。ポプラ学級の廊下や教室の掲示物は、心を和ませる季節感にあふれ、常に人とのコミュニケーション力を高めるための環境作りがなされている。

(2) 互いを大切にした豊かな体験活動の展開

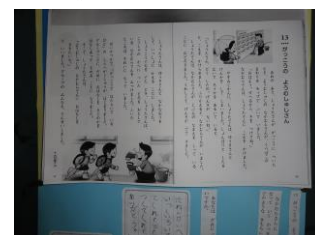
- ア 地域交流・異学年交流

低学年の生活科では、1年生が地域の高齢者の方々に昔遊びを教わり、2年生はおもちゃ祭りで幼稚園生や1年生を招待する。また、6年生は交流センター祭りに参加し、合奏団が敬老会に参加するなど、いろいろな場面で異学年交流や地域との交流が行われた。

学期に一度の縦割り班遊びでは、6年生を中心に話し合い活動が行われ、その後、鬼ごっこやボール遊び、長縄などをして上級生が下級生の面倒をみながら楽しく活動することができた。



誕生列車



道徳コーナー



おもちゃ祭り



縦割り班遊び

イ あいさつ運動

委員会を中心にあいさつ運動を行った。昨年度から中学生も加わり、小中連携の活動となった。互いの気持ちのよいあいさつを交わそうとする意識が高まった。

ウ 福祉体験

5年生では、総合的な学習の時間を活用して、高齢者の疑似体験や車いす体験などの福祉体験活動が行われた。体験をとおして、高齢者や障害者への理解を深め、助け合っていくことの大切さを学ぶことができた。

エ 読み聞かせ

毎週火曜日の朝、保護者による読み聞かせを行っている。また、図書の時間には読み聞かせをしてもらうなど、本との出会いを大切にして豊かな心を育むように努めることができた。



あいさつ運動



福祉体験

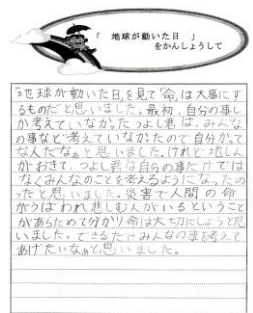
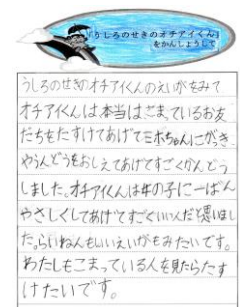
(3) 人権に関する啓発活動の充実

ア なかよし週間

11月に校内人権週間を実施した。この期間に、友達や学校の良さをみつめる「よいとこはっけんカード」を全員記入し、掲示した。また、人権に関する映画を鑑賞し、思いやりの心を培うよい機会とした。低学年は「うしろのせきのおちあいくん」を、高学年は「地球が動いた日」を鑑賞し、感想を書いて、人権意識の高揚を図った。

イ 人権作品への応募

人権メッセージや人権ポスターなどの応募に進んで参加することができた。



3 成果

- (1) 異学年交流や地域との交流をとおして、仲良く生活する楽しさやよさに気づき、互いに教え合ったり、助け合ったりする態度を育むことができた。
- (2) 人権週間の実施や互いのよさを大切にするための環境作りを行うことにより、友達のよさに気付いたり、自分のよさに気付いたりするよい機会となり、一人一人の存在感を高め合うことができた。

II 今後の課題

- (1) 多くの活動の中で人権教育に関することを行っているが、さらに学校教育全体をとおして、人権意識を高めた取組を計画的に実施していきたい。
- (2) 人権に関する研修会に積極的に参加し、人権意識を高めたり、互いのよさを高め合ったりするための指導法を研修したい。

III 人権コーナーの設置

各教室に道徳コーナーが設置され、昇降口には「よいとこはっけん」コーナー、特別支援学級の廊下には、人間関係を構築するための言葉かけの仕方などが掲示されている。



よいとこはっけんコーナー



廊下掲示



廊下掲示